『NHK日本語発音アクセント辞典』改訂 具体的な作業方針をめぐる検討

～アクセント辞典改訂専門委員会（第7回）から～

メディア研究部　塩田雄大／山下洋子／東　美奈子

平成26（2014）年5月26日（月）に，放送博物館セミナールームで第7回アクセント辞典改訂専門委員会（以下，アクセント委員会）が開かれた。その概要を報告する。1章は山下，2章と4章は塩田，3章は東が執筆した。

1　『アクセント辞典』の立項方針に関して

第6回アクセント委員会で，『アクセント辞典』での見出しの立て方およびアクセントの表示方法を検討し，素案が示された[1)]。

その後，放送用語班およびアナウンス室との話し合いを経て，以下のように最終決定した。今回のアクセント委員会では，『アクセント辞典』の立項方針などをめぐって修正した内容について委員に説明し，意見を尋ねた。

1.1　アクセントの表示方法について

▼「上がり目」を付けることをやめ，
　下がり目のみスラッシュ（＼）で示す

（修正案に基づいた表示例）
あいあいがさ【相合い傘】アイアイカ゜＼サ
あいえんきえん【合縁奇縁】アイエンキ＼エン

第6回アクセント委員会では，第1アクセントについては発音をカナで示して，音調の上がり目と下がり目をスラッシュ（／，＼）で表し，平板型は末尾に→を付けることでおおむね合意していた。一方で，アクセント表示において本質的に重要なのは下がり目であり，上がり目はそもそも表示する必要がないという立場があることも同時に示されていた。

音調の上がり目・下がり目の両方を表示する方式でサンプルを作ってみたところ，ぱっと見たときにわかりにくいという意見があった。今回，「上がり目は本質的ではない」という考えを推し進め，上がり目は表示しないこととした。

▼平板型の記号を，「➡」から「￣」に変更

（修正案に基づいた表示例）
あくりょう【悪霊】アクリョー￣

平板型であることを示す「→」は，「A→B」のように変化を表す記号でもあることから，違和感があるという声がアナウンス室からあがった。そのため，「→」をやめ，別の記号を検討することとなった。

いくつかの記号を提案して再度検討した結果，ひと目でわかるような記号を考えると「￣」がよいのではないか，ということで意見がまとまった。アナウンス室からも，同意を得られた。

▼「アクセント核」の位置のみを示す表示方法は，
　第1アクセントについては省略する

（修正案に基づいた表示例）
あじわい【味わい】アジワイ￣ ㋕

第1アクセント以外の表示方法に関して，第6回アクセント委員会で示された素案に従うと，例えば〈あじわい【味わい】アジワイ￣㊥㋕〉というようになる。しかし，この項の第1アクセントが「平板型」であることは〈アジワイ￣〉の部分で十分に示されていることから，情報の重複感があるという指摘が，アナウンス室から寄せられた。このため，第1アクセントの「アクセント核」表示は省略して第2アクセント以降のみを表示することとした。アクセント専門委員からも特に異論はなかった。また，㊥という記号について再考し後日選定することが事務局側に一任された。

1.2　活用形の表示方法について

動詞と形容詞の活用形アクセントを示す。

動詞	約 1,100 語	否定　［未然］	アケナイ
		ます　［連用］	アケマス
		中止　［連用］	アケ
		て　［連用］	アケテ
		ば　［仮定］	アケレバ
		（よ）う　［未然］	アケヨー
形容詞	約 200 語	かった　［連用］	アツカッタ
		く　［連用］	アツク
		くて　［連用］	アツクテ
		ければ　［仮定］	アツケレバ

これらの活用形の発音とアクセントを，動詞・形容詞の終止形の見出しのうしろに示すことにした。

（表示例）
あける【明ける】アケル￣

アケル￣，アケナイ￣，アケマ＼ス，アケ￣，
アケテ￣，アケレ＼バ，アケヨ＼ー

1.3　ゆれのある語形の表示方法について

語形にゆれがある場合，放送で優先させる語形を定めているものと，いずれの語形も同じように使えるようにしているもの，また放送では使わないことにしているものなどがある。これらの語の表示方法は，第6回アクセント委員会では，放送で優先する語形を◎で，許容される語形を△で示すこととしていた。また，放送では使わない語形は×で示すことにしていた。今回，これを一部変更することとした。

▼放送で優先させる語形を主見出しとして立項し，
許容の語形は項内に「許容」として示す。
なお許容の語形は，空見出しとして立項する。

（修正案に基づいた表示例）
さっきゅう【早急】サッキュー￣
許容　**そうきゅう**【早急】ソーキュー￣
そうきゅう【早急】☞さっきゅう

▼いずれの語形も同じように使える語は，
両方とも主見出しとして立項する。

（修正案に基づいた表示例）
いく【行く】イク￣，ユク￣
ゆく【行く】ユク￣，イク￣

▼放送では使わないことにしている語形でも
「×」は付けず，空見出しを立てておく。
場合によっては主見出しの項内で説明する。

（修正案に基づいた表示例）
きわめつき【極めつき】キワメ＼ツキ
（伝統的には「キワメツキ」だが，最近は「キワメツケ」ともいう）
きわめつけ【極めつけ】☞きわめつき

1.4　放送標準表記の表示方法について

『アクセント辞典』改訂にあたっては，見出し語に「放送標準表記」を示し，「表記辞典」としても使えるようにできないかということを検討してきた。

『NHK漢字表記辞典』では，放送で使える表記を次のように表示している。

あいがん　**哀願**
あいくち〔× 匕▲首〕[2)]
あいさつ　①**あいさつ** ②**挨拶**[3)]
あいまい　①**あいまい** ②**曖昧**

これについて，『アクセント辞典』では次のように示すことを，当初提案した。

（当初案に基づいた表示例）
あいがん【哀願】アイガ゜ン￣
あいくち《× 匕首》アイクチ￣
あいさつ【①あいさつ②挨拶】ア＼イサツ
あいまい【①あいまい②曖昧】アイマイ￣

NHKの標準表記を【　】で示し，放送では使わない漢字表記は，常用漢字表に含まれない漢字（表外字）も，常用漢字表に含まれない音訓（表外音訓）も，ともに《×》で示す。また，ひらがな表記を優先する語は【①ひらがな②漢字】で示すこととしていた。

放送用語班内では，放送で使わない漢字表記を一括して《×》で示すことについて，その漢字を使わないことにしている理由がわかりにくくなってしまうので，『漢字表記辞典』のように「×」「▲」で表外字，表外音訓の違いは示すべきではないか，という意見もあった。一方，アクセント辞典専門委員からは，「NHKの放送では使わない」ということがはっきりしていれば，この辞書の決まりとして一律に《×》で示しても問題はないだろうという意見があった。

またアナウンス室からは，見出しから発音・アクセントまでの間に情報が入り込みすぎており，発音・

アクセントを示す辞書であることを明確にしたほうがよい，という意見が聞かれた。

こうした意見を総合的に取り入れて，最終的には，次のように推奨型の表記だけを示すように事務局案を修正した。

（修正案に基づいた表示例）
あいがん【哀願】アイガ゜ン￣
あいくち《×匕首》アイクチ￣
あいさつ　ア＼イサツ
あいまい　アイマイ￣

2　アクセントの変更の基本方針について
ー調査結果の分析と，反映基準ー

『NHK日本語発音アクセント辞典』の改訂作業の基礎資料とするために実施した【第2回】音声聴取調査（3,021語，アナウンサー471人回答）および【第3回】筆記選択式調査（2,521語，アナウンサー126人回答）の結果を基に，記載アクセントの変更の基準として，下記を提案した。詳細は後述する。

第2回調査

《現行掲載アクセント型の「削除」関連》
▼支持率【10％未満】（計360型），【10～19％】（計292型）の掲載型
：原則削除
▼支持率【20～29％】（計360型）の掲載型
：原則削除とするが，保存するものを個別に判断

《現行非掲載アクセント型の「追加」関連》
▼支持率【100％】（計38型），【90～99％】（計107型），【80～89％】（計99型）の非掲載型
：原則追加
▼支持率【70～79％】（計68型），【60～69％】（計71型），【50～59％】（計67型）の非掲載型
：追加するかどうかを個別に判断

《アクセント型の「順序変更」関連》
▼上回り幅【100％】（計10型），【90～99％】（計46型），【80～89％】（計80型），【70～79％】（計132型），【60～69％】（計195型），【50～59％】（計200型），【40～49％】（計215型），【30～39％】（計204型）
：原則順序変更
▼上回り幅【20～29％】（計281型）
：順序変更するかどうかを個別に判断

第3回調査

《現行掲載アクセント型の「削除」関連》
▼支持率【10％未満】（計1型），【10～19％】（計190型）の掲載型
：原則削除
▼支持率【20～29％】（計792型）の掲載型
：原則削除とするが，保存するものを個別に判断

《現行非掲載アクセント型の「追加」関連》
▼支持率【90～99％】（計54型），【80～89％】（計96型）の非掲載型
：原則追加
▼支持率【70～79％】（計75型），【60～69％】（計104型），【50～59％】（計87型）の非掲載型
：追加するかどうかを個別に判断

《アクセント型の「順序変更」関連》
▼上回り幅【70～79％】（計3型），【60～69％】（計15型），【50～59％】（計24型），【40～49％】（計34型），【30～39％】（計55型）
：原則順序変更
▼上回り幅【20～29％】（計50型）
：順序変更するかどうかを個別に判断

なお，「☆：このことばを口に出して言ったことがない」（後述）の数値が高かった項目の処理については，別途検討する。

2.1　今回のアクセント調査の概要

現在出版されているNHKのアクセント辞典（NHK放送文化研究所編（1998）『NHK日本語発音アクセント辞典　新版』，以降『現行版』とする）を改訂して新しい版を準備するのにあたり，これまでに3回の調査がおこなわれている。

2.1.1　第1回調査

第1回調査（2008年，指摘式）は，NHKのアナウンサーに対して，『現行版』の記述の中で改訂を要すると思われるものを，手書き（『現行版』のコピーに赤字を書き入れる形式）で指摘するように求めたものである（塩田雄大（2013））。

2.1.2　第2回調査

第2回の調査（2009年，音声聴取式）は，上述の第1回調査で何らかの指摘があった約1万2,000項目のうち，指摘件数の多かったものを中心として3,021項目を選定し，音声を聴かせる形で回答を求

めたものである（塩田雄大（2013））。

各アナウンサーは，イントラネットの画面上で示される文字表記（アクセント記号は付されていない）を見ながら，それにあわせて再生される読み上げ音声を聴いて，そのアクセント型が放送で使うのにふさわしいかどうかを回答する形になっている。

設問群および回答グループを20に分割したが，これは調査対象語数が3,021項目（6,500アクセント型）とたいへん多く，現役のアナウンサーがすべての設問に回答するような形式では負担が大きすぎると判断されたためである。

回答選択肢として設定したのは，以下の3つである。いずれかを回答しないと，次の設問に進めないようになっている。

○：放送で使うのに望ましい
×：放送で使うのに望ましくない
☆：このことばを口に出して言ったことがない

2.1.3　第3回調査

第3回の調査（2013年，筆記選択式）は，先述の第1回調査で指摘があった項目（約1万2,000項目）のうち，第2回調査の対象（3,021項目）に選定されなかったものから，2,521項目を選んで実施した（**表1**）。

表1　第3回アナウンサーアクセント調査（2013年・筆記選択式）の概要

調査期間	2013年5月22日～9月30日
調査対象	NHKアナウンサー160人（中堅・ベテラン層） 回答者126人 有効回答率79%
調査項目	2,521項目〔5,299アクセント型〕
調査方法	筆記式の調査回答表を作成した。回答者は，示されたアクセント型の選択肢のなかから，○（放送で使うのに望ましい），×（放送で使うのに望ましくない），☆（このことばを口に出して言ったことがない）の判定（いずれか1つ）を記入する。
人数配分	グループ分けはせず，5,299問を掲載した調査回答表を，全員に配布した。

第2回調査の対象項目は，第1回調査でアナウンサーからの「おかしい」という指摘が特に多かった項目を中心に選んだ。そのため，必ずしも全員に尋ねなくても，ある程度安定した結果が得られるものと予想されたので，1項目に対する回答者は約25人と比較的少なくなっている。

それに対して第3回調査のものは，指摘件数がそれほど多くなかった項目が中心になっている。ある程度大人数に尋ねないと結果が不安定になってしまうおそれがあったため，グループ分けはおこなわずに，それぞれの項目に対して全員（最終的には126人）が回答するようにした。

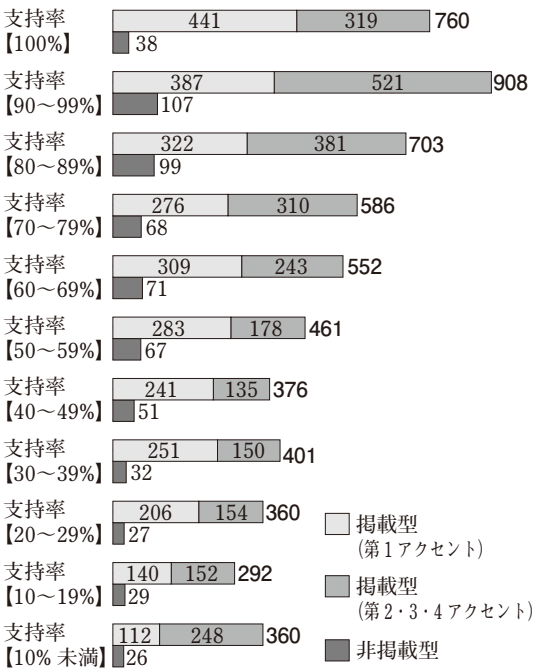
調査回答表のイメージは，第2回調査を筆記形式にしたようなものである。各アナウンサーは，回答表に示された特定のアクセント型（発音カナ表記に音調の上がり目・下がり目のスラッシュを付したもの）に対して，それが放送で使うのにふさわしいかどうかを回答するようになっている。回答選択肢として設定したのは，第2回調査と同じく「○，×，☆」の3つである。

1つの項目に関して複数のアクセント型を文字で提示するのであるが，その複数の型は，提示順として離れたところに位置するように配列した。

2.2　第2回アナウンサーアクセント調査（2009年・音声聴取式）にみられる傾向

全体の回答分布は，次のようになっている（**図1**）。これ以降，「○〔＝放送で使うのに望ましい〕」の回答割合を，「支持率」と呼ぶ。また，『現行版』に

図1　第2回アナウンサーアクセント調査（2009年・音声聴取式）の全体回答分布（内訳つき）



対象：6,374型（用言活用関連の126型を除いた）

掲載されている型を「掲載型」，掲載されていない型を「非掲載型」と呼ぶ。「掲載型」は，「第1アクセント型〔＝それぞれの項において最初に掲げてあるアクセント〕」とそれ以外に下位分類する。

全体としては，次のようなことが指摘できる。

▼掲載型・非掲載型ともに，「支持率【90 ～ 99%】」をピークとした単峰型の分布をなしている。
▼掲載型は支持率が高く表れるのが，理想的である。しかし，掲載型で支持率が低いものも，非常に多い。これは，『現行版』が，「化石的なアクセント型」も収録していることを意味する。
こうしたものは，改訂作業においては「削除対象候補」となる。
▼非掲載型で支持率が高いものも，決して少なくない。これは，『現行版』が，実態的なアクセント変化を反映しきれていないことを意味する。こうしたものは，改訂作業においては「追加対象候補」となる。
▼「削除対象候補」と「追加対象候補」の件数を対照して見るかぎり，改訂作業においては「削除対象候補」のほうがかなり多くなりそうである。
▼掲載型第１アクセント型だけで見ると，「支持率【100%】」がもっとも多い。
▼掲載型第１アクセント型と掲載型第２・３・４アクセント型との関係で見ると，支持率【90 ～ 99%】【80 ～ 89%】【70 ～ 79%】の区間では，第２・３・４アクセント型の占める件数が，第１アクセント型の件数を上回っている。これは，『現行版』で第２・３・４アクセント型となっていながら支持率が70%以上のものの中には，改訂作業において第１アクセント型に順序変更されうるものが多く含まれていることを示唆する。

2.2.1 「実態」として支持率が低いのに，「規範」として『現行版』に掲載されているもの【低支持率・掲載型】

ここでは，「支持率が低い」ということを【10%未満】【10 ～ 19%】【20 ～ 29%】といった段階に分けて，考えてみる。

支持率が低いのにもかかわらず，『現行版』に掲載されているアクセント型は，下記のとおりである。それぞれのアクセント核の位置を，丸数字で表す。◎は，平板型である。

例１　支持率【10%未満】の掲載型：計 360 型 ⇒【原則削除】

アーメン◎，あうん①，仰ぎ見る◎，青白い◎，青大将◎，あがき①，悪意②，麻の葉③，アジト◎，梓②，梓◎，汗みどろ①，あっぷあっぷ①，圧力がま◎，穴ぼこ②，アヘン◎，雨雲③，余り物⑤，洗いざらい②，荒っぽい◎，…（以下略）

例２　支持率【10 ～ 19%】の掲載型：計 292 型 ⇒【原則削除】

合い札④，あえぎあえぎ②，あかとんぼ①，アカペラ②，悪霊②，あさがた（朝方）②，あし笛②，預かり証④，アセトン②，あっぱれ①，あほう（阿呆）①，雨足②，雨着③，余り物④，歩み合う◎，荒海③，荒物屋④，あらわに◎，アレグロ②，荒れ回る◎，…（以下略）

例３　支持率【20 ～ 29%】の掲載型：計 360 型 ⇒原則削除とするが，保存するものを個別に判断

合いかぎ②，アイコン①，青息吐息③・⑤，あかんべ④，秋物②，あげはちょう◎，朝市③，跡地◎，アパレル①，あまだい◎，あみぶね（網船）③，歩み寄る◎，荒行②，あらわ◎，あるべき③，アルペン◎，アロエ①，あわおこし（粟おこし）④，アンチョビー③，言い伝える④，…（以下略）

2.2.2 「実態」として支持率が高いのに，『現行版』に掲載されていないもの【高支持率・非掲載型】

次に，支持率が高いのにもかかわらず，『現行版』に掲載されていないアクセント型について取り上げる。

ここでは，「支持率が高い」ということを【100%】【90 ～ 99%】【80 ～ 89%】【70 ～ 79%】【60 ～ 69%】【50 ～ 59%】といった段階に分けて，提示する。

例４　支持率【100%】の非掲載型：計 38 型 ⇒【原則追加】

アルコールいそんしょう（依存症）◎・◎，いきえ（生き餌）◎，１合②，１貫（数詞）①，１銭①，一長一短③，一長一短③・◎，井戸掘り②，いぶかしげ◎，引導◎，落ち武者◎，…（以下略）

例５　支持率【90 ～ 99%】の非掲載型：計 107 型 ⇒【原則追加】

秋さば◎，小豆がゆ④，後片づけ④，あぶらみ（脂身）◎，甘い②，雨露②，犬猫◎，請負給④，打ち首◎，梅の木④，梅見◎，オークランド①，大

ぶろしき④, 覚えず③, 重たい③, 温泉宿③, …（以下略）

例 6　支持率【80 ～ 89%】の非掲載型：計 99 型

⇒【原則追加】

相合い傘④, アイシング◎, 明るい③, 揚げもち②, 浅い②, 足しげく④, アドレス（住所）◎, アドレス（メールの）◎, 雨靴◎, 雨曇り◎, 編みがさ◎, あらいぐま④, 至れり尽くせり◎・⑦, 一問一答②・◎, いつの間にか◎, 居眠り②, 有象無象◎, 選び方④, 遠近①, 大君①, …（以下略）

例 7　支持率【70 ～ 79%】の非掲載型：計 68 型

⇒追加するかどうかを個別に判断

合いの手◎, あじろ木◎, アダプター◎, 扱い③, 編み針◎, 打ち手◎, 移りばし③, 絵文字◎, お茶菓子◎, お月様②, お作り③, お手伝い③, …（以下略）

例 8　支持率【60 ～ 69%】の非掲載型：計 71 型

⇒追加するかどうかを個別に判断

相合い傘③, アキレスけん◎, アンチョビー◎, 依願免官④, 市松②, 院生①, うまぬすびと（馬盗人）④, 絵だこ◎, お釈迦様◎, 親方◎, …（以下略）

例 9　支持率【50 ～ 59%】の非掲載型：計 67 型

⇒追加するかどうかを個別に判断

アセトン◎, アセトン①, 穴掘り②, 飴売り②, 一撃④, いつぞや③, うみうし◎, 奥底①, お力落とし◎, おどける③, 折菓子◎, …（以下略）

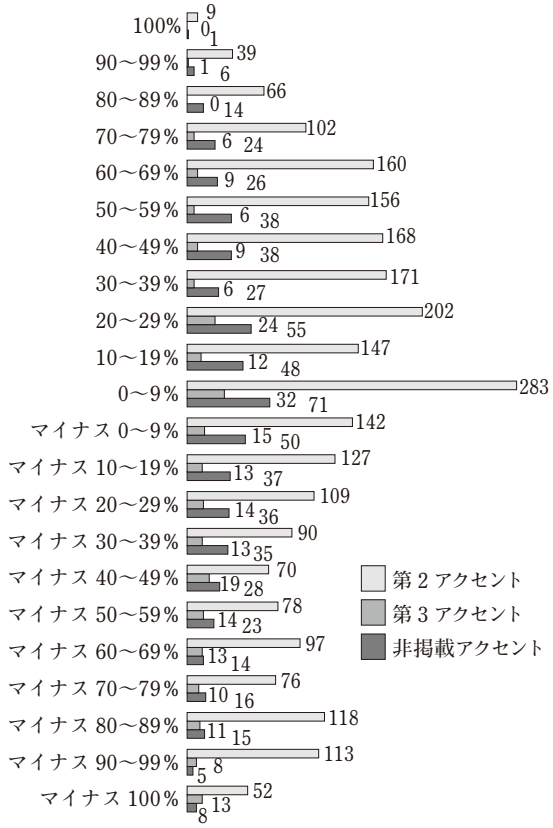
2.2.3　『現行版』での順序に関する問題

『現行版』には，複数のアクセント型を示した項が多数掲げられている。それぞれの項において，「第1アクセント型」の支持率は，「第2アクセント型」の支持率よりも高く表れるのが，理想的な状態である。しかし実際にはそのようになっておらずに「第2アクセント型」の支持率のほうが「第1アクセント型」の支持率よりも高くなっている項が少なからずある。

「第1アクセント」の支持率に対して「第2・3アクセント」あるいは「非掲載アクセント」の支持率がどの程度上回っているかを示す値を，「上回り幅」と呼ぶことにする。これは単純に，「第2・3アクセント」あるいは「非掲載アクセント」の支持率から「第1アクセント」の支持率を引き算した数値である。

「上回り幅」の数値を10%刻みにして図に示したのが，**図2**である。

図 2　第1アクセントに対する「上回り幅」第 2 回アナウンサーアクセント調査（2009 年・音声聴取式）



上回り幅＝【第 2 or 第 3 or 非掲載アクセントの支持率】
－【第 1 アクセントの支持率】

例えば，第 2 アクセントの支持率が，第1アクセントの支持率よりも 70 ～ 79%上回っているものは，102 件ある。

全体としては，次のようなことが指摘できる。

▼第2・3アクセントおよび非掲載アクセントを基準にすえて，もっとも多いのは，「0～9%」である。これは，一つの項に複数のアクセント型がある場合に，「支持率の差があまりない〔=上回り幅が小さい〕」ものが非常に多いことを示している。
▼その一方で，上回り幅が20%を超えるものも，決して少なくない。こうしたものは，改訂作業においては「順序変更対象候補」となる。

上回り幅が大きい順に，対象語を掲載する。

例10　上回り幅【100%】：計10型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉乾めん① 100〔◎ & ①〕，クロス① 100〔② & ①〕，原子力潜水艦◎ 100〔⑧ & ◎〕，さゆり◎ 100〔① & ◎〕，地方自治体② 100〔⑤ & ②〕，不快◎ 100〔② & ◎〕，メール◎ 100〔① & ◎〕，目の下① 100〔② & ①〕，よろしい③ 100〔◎ & ③〕　［小計　9型］
〈第3アクセント〉（なし）　［小計　0型］
〈非掲載アクセント〉落ち武者◎ 100〔③〕　［小計　1型］

凡例「乾めん① 100〔◎ & ①〕」
：第2アクセントである「乾めん①」の支持率が100%であり，『現行版』の掲載型は，第1アクセントが「乾めん◎」，第2アクセントが「乾めん①」であることを示す。【第2アクセントの支持率】－【第1アクセントの支持率】（未表示）＝100%となることから，このグループに分類してある。（以下同）

例11　上回り幅【90～99%】：計46型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉祝い◎ 100〔② & ◎〕，大奥① 100〔③ & ①〕，返し縫い◎ 100〔③ & ◎〕，渦中① 100〔◎ & ①〕，家宝① 100〔◎ & ①〕，きゅう覚① 96〔◎ & ①〕，けまり◎ 100〔① & ◎〕，合意◎ 100〔① & ◎〕，こうじ菌◎ 100〔③ & ◎〕，心意気◎ 100〔④ & ◎〕，…（以下略）［小計　39型］
〈第3アクセント〉原子力発電所⑩ 96〔③・◎ & ◎ & ⑩ & ◎〕　［小計　1型］
〈非掲載アクセント〉新法① 100〔◎〕，短刀◎ 100〔③〕，地方自治体②・◎ 92〔⑤ & ②〕，日がな一日⑦ 91〔①〕，肥満症◎ 100〔②〕，ミナミ（大阪の地名）① 96〔◎〕　［小計　6型］

例12　上回り幅【80～89%】：計80型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉あさがた（朝方）◎ 100〔② & ◎〕，梓① 96〔◎ & ① & (②)〕，あっぷあっぷ④ 92〔① & ④〕，荒海◎ 100〔③ & ◎〕，荒物屋◎ 96〔④ & ◎〕，遺恨◎ 100〔① & ◎〕，一般大衆⑤ 96〔◎ & ⑤〕，芋汁◎ 100〔③ & ◎〕，上様（将軍）① 96〔② & ①〕，うちうみ（内海）◎ 96〔③ & ◎〕，…（以下略）　［小計　66型］
〈第3アクセント〉（なし）　［小計　0型］
〈非掲載アクセント〉1合② 100〔③ & ◎〕，…（以下略）　［小計　14型］

例13　上回り幅【70～79%】：計132型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉アーメン① 86〔◎ & ①〕，麻の葉◎ 83〔③ & ◎〕，アパレル◎ 95〔① & ◎〕，雨着② 86〔③ & ② & (◎)〕，あまだい② 96〔◎ & ②〕，あるべき① 100〔③ & ①〕，板付き◎ 96〔② & ◎〕，板屋根◎ 92〔③ & ◎〕，1畳② 96〔③ & ②〕，印ろう◎ 96〔③ & ◎〕，…（以下略）　［小計　102型］
〈第3アクセント〉（用例略）　［小計　6型］
〈非掲載アクセント〉1貫（数詞）① 100〔③〕，いぶかしげ◎ 100〔④ & ⑤〕，…（以下略）　［小計　24型］

例14　上回り幅【60～69%】：計195型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉足湯◎ 100〔② & ◎〕，あみぶね（網船）◎ 84〔③ & ◎〕，アルコールいそんしょう（依存症）◎ 100〔⑦ & ◎〕，いくさ（戦）◎ 96〔③ & ◎〕，一難② 96〔◎ & ②〕，一国一城⑥ 96〔◎ & ⑥〕，いぶし銀◎ 100〔③ & ◎〕，入り海◎ 75〔③ & ◎〕，いわく（言うこと）① 96〔◎ & ①〕，いんよう（陰陽）◎ 92〔① & ◎〕，…（以下略）　［小計　160型］
〈第3アクセント〉青息吐息⑤ 91〔③・◎ & ③・① & ⑤〕，…（以下略）　［小計　9型］
〈非掲載アクセント〉秋さば◎ 96〔②〕，アルコールいそんしょう（依存症）◎・◎ 100〔⑦ & ◎〕，いきえ（生き餌）◎ 100〔②〕，1銭① 100〔③〕，犬猫◎ 91〔③〕，引導◎ 100〔③〕，大君① 80〔③ & ◎〕，…（以下略）　［小計　26型］

例15　上回り幅【50～59%】：計200型
⇒【原則順序変更】

〈第2アクセント〉頭数◎ 92〔④ & ◎ & ③〕，ありふれる④ 96〔◎ & ④〕，いいだこ◎ 87〔① &

◎〕，生き方③ 100〔④ & ③〕，異性① 96〔◎ & ①〕，いたって② 100〔◎ & ②〕，一問一答② 100〔◎・◎ & ②〕，偽り◎ 92〔④ & ◎ & (③)〕，糸じり◎ 68〔② & ◎〕，いの一番④ 88〔①・② & ④〕，…（以下略）　［小計　156 型］

〈第 3 アクセント〉 あし笛◎ 92〔③ & ② & ◎〕，…（以下略）　［小計　6 型］

〈非掲載アクセント〉 井戸掘り② 100〔④ & ③〕，打ち首◎ 96〔② & ③〕，梅の木④ 96〔③〕，オークランド① 96〔④〕，…（以下略）［小計　38 型］

例 16　上回り幅【40 ～ 49%】：計 215 型
⇒【原則順序変更】

〈第 2 アクセント〉 愛読書◎ 75〔③ & ◎〕，朝曇り◎ 87〔③ & ◎〕，朝酒◎ 92〔② & ◎〕，預かり◎ 96〔④ & ◎ & ③〕，当たり年③ 95〔◎ & ③〕，あっという間に◎ 88〔① & ◎〕，後味② 96〔◎ & ②〕，あなた方④ 84〔◎ & ④〕，案じる◎ 92〔③ & ◎〕，安打① 86〔◎ & ①〕，…（以下略）
［小計　168 型］

〈第 3 アクセント〉 集まり③ 96〔④ & ◎ & ③〕，帯止め◎ 96〔③ & ④ & ◎〕，…（以下略）
［小計　9 型］

〈非掲載アクセント〉 アイシング◎ 84〔①〕，小豆がゆ④ 91〔③ & ◎〕，アセトン① 55〔②〕，雨曇り◎ 80〔③〕，アンチョビー◎ 64〔③ & ①〕，依願免官④ 63〔① & ①･◎〕，一問一答②･◎ 88〔◎･◎ & ②〕，一長一短③・◎ 100〔◎ & ◎・◎〕，一長一短③ 100〔◎ & ◎･◎〕，いつの間にか◎ 81〔⑤ & ④〕，…（以下略）　［小計　38 型］

例 17　上回り幅【30 ～ 39%】：計 204 型
⇒【原則順序変更】

〈第 2 アクセント〉
青麦② 96〔③ & ②〕，贖い◎ 91〔③ & ◎〕，悪相◎ 78〔③ & ◎〕，あごひげ◎ 96〔② & ◎〕，朝な夕な① 68〔④ & ① & ①・①〕，あっこう（悪口）◎ 74〔③ & ◎〕，あのとき③ 100〔④ & ③〕，雨傘◎ 96〔③ & ◎〕，危うい③ 96〔◎ & ③〕，あやつり（操り）◎ 76〔④ & ◎ & ③〕，…（以下略）
［小計　171 型］

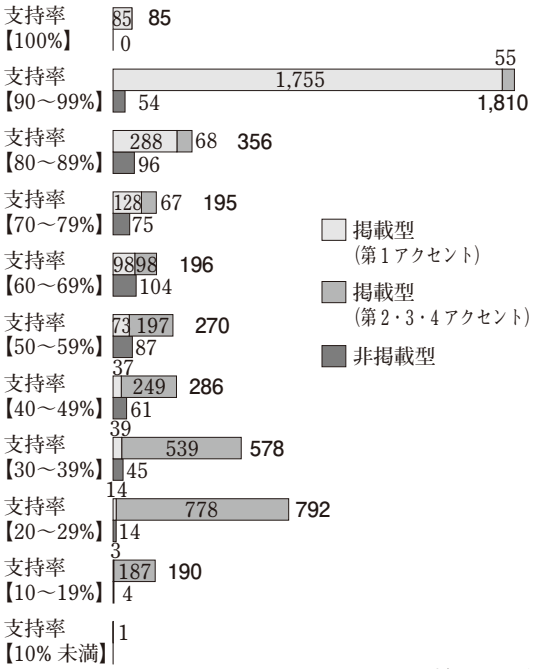
〈第 3 アクセント〉 あかすり◎ 92〔③ & ④ & ◎〕，石投げ◎ 82〔③ & ④ & ◎〕，…（以下略）
［小計　6 型］

〈非掲載アクセント〉 アセトン◎ 50〔②〕，あぶらみ（脂身）◎ 96〔③〕，編みがさ◎ 84〔③〕，梅見◎ 96〔③〕，お釈迦様◎ 65〔⑤ & ④〕，…（以下略）　［小計　27 型］

2.3　第 3 回アナウンサーアクセント調査（2013 年・筆記選択式）にみられる傾向

全体の回答分布は，次のようになっている。

図 3　第 3 回アナウンサーアクセント調査（2013 年・筆記選択式）の全体回答分布（内訳つき）



全体としては，次のようなことが指摘できる。

▼掲載型は，「支持率【90 ～ 99%】」と「支持率【20 ～ 29%】」をピークとした双峰型の分布をなしている。
▼そのうち第 1 アクセント型では「支持率【90 ～ 99%】」がピークとなっている。これは，この調査語群での第 1 アクセントは，あまり修正の必要がないものとして解釈できる。
▼一方，第 2・3・4 アクセント型では「支持率【20 ～ 29%】」がピークとなっている。これは，この調査語群での第 2・3・4 アクセント型には，削除を検討すべきものが多く含まれているものとして解釈できる。

2.3.1 「実態」として支持率が低いのに，「規範」として『現行版』に掲載されているもの【低支持率・掲載型】

ここでは，「支持率が低い」ということを，2.2.1と同様に【10%未満】【10 ～ 19%】【20 ～ 29%】といった段階に分けて，考えてみる。

例 18　支持率【10%未満】の掲載型：計 1 型
⇒【原則削除】

患いつく◎

例 19　支持率【10 ～ 19%】の掲載型：計 190 型
⇒【原則削除】

赤芽芋◎，亜熱帯◎，安全弁◎，意外①，いがみ合う◎，いそじ《五十路》①，1 錠◎，一存②，一世①，（あと）1 票◎，いまだ①，鵜飼い①，うこん《鬱金》◎，うしょう《鵜匠》①，疫病②，大口①，大ばか①，奥地◎，おくびょう神◎，鬼ばばあ①，…（以下略）

例 20　支持率【20 ～ 29%】の掲載型：計 792 型
⇒原則削除とするが，保存するものを個別に判断

相対①，相棒③，青黒い◎，青っぱな②，あからさま③，飽き気味③，悪心③，悪病②，悪名②，アクリル①，朝がゆ②，朝雲③，浅黒い◎，あさる②，足かせ③，味わう◎，アセアン《ASEAN》①，汗みずく①，あだ討ち②，アドレナリン④，…（以下略）

2.3.2 「実態」として支持率が高いのに，『現行版』に掲載されていないもの【高支持率・非掲載型】

次に，支持率が高いのにもかかわらず，『現行版』に掲載されていないアクセント型について取り上げる。

ここでは，「支持率が高い」ということを，2.2.2と同様に【90 ～ 99%】【80 ～ 89%】【70 ～ 79%】【60 ～ 69%】【50 ～ 59%】といった段階に分けて，提示する。

例 21　支持率【90 ～ 99%】の非掲載型：計 54 型
⇒【原則追加】

いこじ《依怙地》②，インドシナ③，うこん《鬱金》①，打ち水◎，塩素酸◎，…（以下略）

例 22　支持率【80 ～ 89%】の非掲載型：計 96 型
⇒【原則追加】

飽くなき③，小豆◎，当てっこ②，油菜◎，雨ざらし◎，甘ったれる⑤，雨粒◎，網目◎，雨風②，ありがたげ◎，ある程度③，いささか◎，一城②，一時も◎，ウオーキング◎，請負師④，うり坊③，エシャロット①，枝分かれ◎，おかしげ◎，…（以下略）

例 23　支持率【70 ～ 79%】の非掲載型：計 75 型
⇒追加するかどうかを個別に判断

赤い②，上げぜん《膳》②，天かける《翔》①，雨どい◎，編み目◎，荒い②，いろり火◎，うんぬん《云々》③，絵かき◎，襟幅◎，おおまか③，押し合いへし合い◎・◎，オムニバス①，重い②，オリジナル◎，折れくぎ◎，…（以下略）

例 24　支持率【60 ～ 69%】の非掲載型：計 104 型
⇒追加するかどうかを個別に判断

あえ物◎，あえ物③，赤えい【魚】◎，赤芽芋③，秋空◎，あくる年◎，あずまや《東屋》◎，胃酸過多症◎，井筒◎，板切れ③，いとこ①，いとひば【木】◎，いのしし②，居間◎，色物◎，インタビュアー③，後ろ幕◎，写し絵◎，うんぬん《云々》①，えぐる◎，…（以下略）

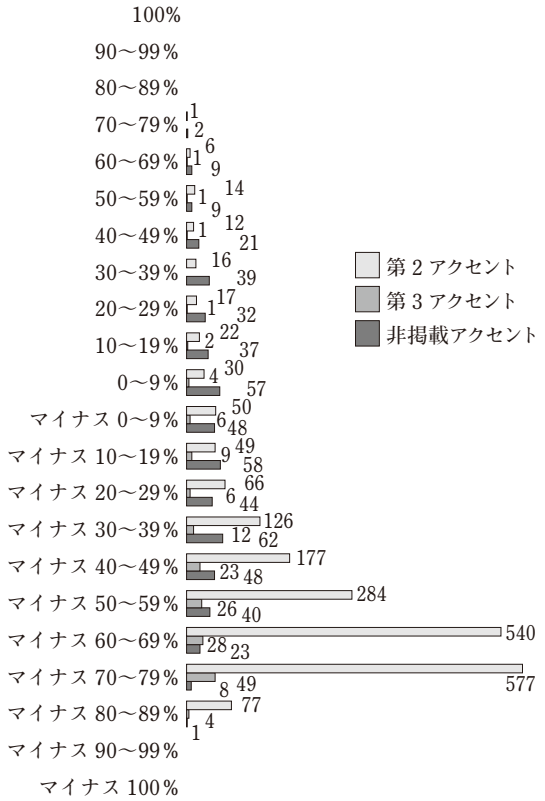
例 25　支持率【50 ～ 59%】の非掲載型：計 87 型
⇒追加するかどうかを個別に判断

上げ幅◎，あじさい②，汗水②，跡継ぎ③，油墨◎，雨どい③，生き神様◎，いたく②，一二回④，稲光◎，請け負う◎，氏神様◎，歌い方④，男帯◎，オペレーター◎，…（以下略）

2.3.3 『現行版』での順序に関する問題

2.2.3と同じく，「上回り幅」の数値を10%刻みにして図に示したのが，**図4**である。

図４　第１アクセントに対する「上回り幅」
第３回アナウンサーアクセント調査(2013年･筆記選択式)



上回り幅＝【第２ or 第３ or 非掲載アクセントの支持率】
－【第１アクセントの支持率】

例えば，第２アクセントの支持率が，第1アクセントの支持率よりも70～79%上回っているものは，１件ある。

全体としては，次のようなことが指摘できる。

▼第２･３アクセントおよび非掲載アクセントを基準にすえて,「マイナス70～79%」のものがもっとも多く，この類型を軸とした単峰型の分布になっている。「上回り幅」がプラスになっているものは，全体として非常に少ない。つまり，「順序変更対象候補」となりうる項目は,前述の2.2.3とは異なり，あまり多くない。

上回り幅が大きい順に，対象語を掲載する。

例26　**上回り幅【70～79%】：計３型**
⇒【原則順序変更】

〈第２アクセント〉酸味◎94〔①＆◎＆(③)〕
［小計　１型］

〈非掲載アクセント〉うこん《欝金》①94〔◎〕，前羽◎91〔①〕　［小計　２型］

例27　**上回り幅【60～69%】：計16型**
⇒【原則順序変更】

〈第２アクセント〉唐じし◎98〔③＆◎〕，計算尺③94〔◎＆③〕，精進揚げ◎96〔③＆◎〕，招待状◎98〔③＆◎〕，抑うつ症◎96〔④＆◎〕，連判状◎94〔③＆◎〕　［小計　６型］

〈第３アクセント〉旗揚げ◎97〔④＆③＆◎〕
［小計　１型］

〈非掲載アクセント〉塩素酸◎94〔③〕，貸し倒れ準備金◎95〔⑧〕，髪結い◎97〔③〕，言の葉◎95〔③〕，陣屋◎94〔③〕，草木◎93〔①〕，都合【合計】◎94〔①〕，つぼむ◎92〔②〕，小かぶ《蕪》◎95〔①〕　［小計　９型］

例28　**上回り幅【50～59%】：計24型**
⇒【原則順序変更】

〈第２アクセント〉甘ったるい⑤95〔◎＆⑤〕，お館◎89〔②＆◎〕，寒竹◎78〔①＆◎〕，ご面相◎86〔②＆◎〕，島抜け◎86〔④＆◎〕，そら似◎97〔③＆◎＆(②)〕，高鳴り◎96〔④＆◎〕，食べ汚す④94〔◎＆④〕，ちかぢか《近々》②99〔◎＆②〕，ねぎま◎94〔③＆◎〕，…（以下略）
［小計　14型］

〈第３アクセント〉酸味③71〔①＆◎＆(③)〕
［小計　１型］

〈非掲載アクセント〉ありがたげ◎88〔④＆⑤〕，顔色◎86〔①〕，水銀寒暖計◎85〔⑦〕，ちと①93〔◎〕，手慰み◎87〔②〕，なぞ解き◎99〔④〕，荷かご◎91〔①〕，末世①93〔◎〕，わら灰◎83〔②〕　［小計　９型］

例29　**上回り幅【40～49%】：計34型**
⇒【原則順序変更】

〈第２アクセント〉当たり鉢③80〔◎＆③〕，菊花①91〔(キクカ)◎＆①〕，気難しい⑤96〔◎＆⑤〕，(知識を)教授（～する)①86〔◎＆①〕，気押される④93〔◎＆④〕，乳首①93〔②＆①〕，煮崩れ②91〔◎＆②〕，(親を)みとる②94〔◎＆②〕，もの悲しい⑤98〔◎＆⑤〕，悪気◎94〔③＆◎〕，…（以下略）　［小計　12型］

〈第３アクセント〉かなかな《蜩》◎83〔④＆③＆◎〕　［小計　１型］

〈非掲載アクセント〉赤芽芋③63〔◎〕，ありのまま⑤96〔◎〕，いこじ《依怙地》②96〔◎〕，かせ②87〔①〕，かんしょ《甘蔗》◎86〔①〕，奇跡①74〔◎＆②〕，この節③87〔②〕，舌打ち◎94〔④＆③〕，ぞんざい◎91〔③〕，付け木◎83〔②〕，…（以下略）　［小計　21型］

例30　**上回り幅【30～39%】：計55型**
⇒【原則順序変更】

〈第２アクセント〉危ない③91〔◎ & ③〕，（顔見せの）改め◎86〔③ & ◎ & ④〕，1等③94〔◎ & ③〕，素人目◎91〔④ & ◎ & ⑤〕，立ち向かう④94〔◎ & ④〕，取り決める④91〔◎ & ④〕，取り次ぐ③93〔◎ & ③〕，一巡り③90〔② & ③〕，文学部④95〔③ & ④〕，見せつける④94〔◎ & ④〕，…（以下略）　［小計　16型］
〈非掲載アクセント〉一城②85〔◎〕，いとひば【木】◎68〔②〕，インドシナ③91〔④〕，打ち水◎94〔②〕，うんぬん《云々》③77〔◎〕，エシャロット①83〔③ & ②〕，囲い網③79〔◎〕，かすめる③90〔◎〕，肩ひじ◎76〔①〕，唐草◎93〔②〕，…（以下略）　［小計　39型］

3　アクセント・発音の個別の問題点

今回の改訂では，個々の語のアクセントを見直すのと同時に，同じような性質を持つ語をまとめて検討する方針を立てている。今回の会議では次の3点について現状を報告し，今後の編集方針について審議をおこなった。

3.1　アクセントに区切りのある語（2単位以上の語）

例えば「七転び八起き」［ナナコ＼ロビ・ヤ＼オキ］，「奥の細道」［オ＼クノ・ホソ＼ミチ］のように，1語の中にアクセントの下がり目が2か所以上ある語は，『現行版』に約600語掲載されている。これらに対して一括して見直しをおこなったことはなく，明確な統一基準も設けていなかったため，『現行版』では整合性を欠く部分がある。

なお，以前の改訂や第6回アクセント委員会までの検討では，「2語意識のある語」ということばを使用していたが，これについて，「『意識』の問題ではなく，『アクセントの単位』が1つなのか，複数（2つ以上）であるかを考えるべきだ」という指摘を委員から受けた。「反社会」「被選挙人」などは語としては1語だが，アクセントの面からは2単位にも発音する（［ハ＼ン・シャ＼カイ］［ヒ＼・センキョニン￣］）。今後は「アクセントが2単位以上の語」などの術語を使用することで一致した。

委員会では，まず現状報告をおこなった。

『現行版』では下記のように，アクセントが2単位あるものが139語，両様あって第1アクセントが2単位の語60語，第1アクセントがアクセント1単位の語が327語，またその他が65語となっている。

ちなみに，3単位の語には「月雪花」［ツキ＼・ユキ＼・ハナ＼］がある。

① **2単位語**（139語）　一問一答，井の中のかわず，奥の細道，現時点，秋霜烈日，前代見聞，付かず離れず，歯にきぬ着せず，松平定信　など
② **第1アクセントが2単位，第2が1単位**（60語）　一姫二太郎，右近のたちばな，有象無象，環太平洋，筋ジストロフィー，当座のしのぎ，にっちもさっちも，和漢混交文　など
③ **第1アクセントが1単位，第2が2単位**（327語）　悪戦苦闘，痛しかゆし，井原西鶴，小倉百人一首，核廃棄物，骨粗しょう症，新年参賀，世界新記録，台風一過，手練手管，無期懲役，有史以前　など
④ **その他の組み合わせ**（65語）　青息吐息，多かれ少なかれ，気随気まま，原子力発電所　など

そして，「十把ひとからげ」を例にあげ，（A）1語1語区切って読む場合（後部の語頭部分も心持ち上昇）と，（B）下がり目を2回示す場合のアクセント表示について提案をおこなった。

じゅっぱひとからげ【十把一からげ】
（A）ジュ＼ッパ・ヒト＼カラゲ゜
（B）ジュ＼ッパヒト＼カラゲ゜

仮に上がり目を表示するとすれば，下記のようになる。

（A）/ ジュ＼ッパ・ヒ/ ト＼カラゲ゜
（B）/ ジュ＼ッパヒト＼カラゲ゜

後半で一度上がり目が入るものと，上がり目が入らずに2回下降するものを，区別しようとしたものである。

しかし，この提案に対しては委員から，「複数のアクセント単位のある語を1句にまとめるかどうかは，アクセント辞典に記載する本質的な問題ではない。大事なのは下がり目の表示であり，実際の発話で上昇を付けるかどうかは意味に関わる運用上の問題。どちらか一方の表示で十分だ」という意見が出た。

また，語の切れ目に中黒「・」を入れるかどうかについても審議をした。「・」を入れると，そこで切れ目を意識するあまり，無用に音調を上げてしまう弊害も指摘された。しかし，「きら星のごとく」「間髪を入れず」「一衣帯水」のように，区切りがわかり

にくい語，誤用しやすい語があるため，辞書上は発音の区切りを喚起するために「・」を表示する方向で検討している（例　［キ＼ラ・ホシノコ゜＼トク］［カ＼ン・ハ＼ツオイレズ］［イチ＼・イタ＼イスイ］など）。

アナウンス室からは「人名や四字熟語なども，放送現場で辞書を引いたときに載っていて助かったという気持ちになることがある」という意見もあり，この部分はさらに追加語を充実させたい。

なお，複合名詞として，アクセントが1単位のもの（例，遊び相手，衆議院議員）は，巻末の付録部分に後部要素を見出しとして，法則と用例をあげている（例，～相手，～議員）。

今改訂ではこの部分も見出し語を増やし，法則部分をわかりやすくする作業を進めている。

3.2　ガ行鼻音と濁音の両方を掲載している語

ガ行の発音は，語頭や外来語は［ガ］と濁音で発音し，語中は［カ゜］と鼻音で発音するのが原則である。ただ，いくつか例外があり，『現行版』でも鼻音・濁音の両方を採用しているものがある。

『現行版』の巻末付録の解説部分を以下に引用する。アクセント記号を新しい方式に修正した。

＊P.229

（3）　接頭語の次のガ行音。

例　オギリ￣（お義理），オゲ＼ンキ（お元気），オグ＼アイ（お具合）

ただし，敬語以外の接頭語が付いたときは，［g］［ŋ］の両方に発音されることが多い。

例　フ＼ギリ～フ＼キ゜リ（不義理），フゴ＼ーリ～フコ゜＼ーリ（不合理）

＊P.230

（5）　後部が，ガ行濁音で始まる複合語でも，複合の度合いによって，いろいろに発音される。

a　複合の度合いが弱く，2語の意識のあるものは，［g］と［ŋ］の両方に発音される。

例　［g］～［ŋ］に発音されるもの。

キョーイクガ＼クブ～キョーイクカ゜＼クブ（教育学部），キョーヨーガ＼クブ～キョーヨーカ゜＼クブ（教養学部），トギ＼カイ～トキ゜＼カイ（都議会）

例　［ŋ］～［g］に発音されるもの。

アタリ＼ケ゜イ～アタリ＼ゲイ（当たり芸），オモテ＼ケ゜イ～オモテ＼ゲイ（表芸），シロート＼ケ゜イ～シロート＼ゲイ（素人芸），セイケイカ゜＼クブ～セイケイガ＼クブ（政経学部），ネコ゜ザ￣～ネゴザ￣（寝莫蓙）

『現行版』では本文中に60語について，濁音・鼻音の両方を掲載している。

●濁音→鼻音の順で掲載（34語）

教育学部，兵学校，市議会議員，吹奏楽器，塩化銀，大御所，不合格　など

●鼻音→濁音の順で掲載（26語）

交響楽団，管弦楽器，年月日，しま柄，塗りげた，三原色，寝ござ　など

今回は，似た語構成の語をなるべく統一し（例，吹奏楽器と管弦楽器），濁音と鼻濁音のどちらかに絞れる語は片方だけにして，委員会に提案をした。

委員からは「鼻濁音はアナウンサー調査に含まれていたのか」という質問があり，調査項目に含まれていない旨を伝えた。「今回の改訂は，調査データを重視する方針を立てている。対象者は少なくてもよいので，ぜひ実施するべきだ」との意見があがった。

そこで，第4回調査として，NHKアナウンサーに鼻濁音の調査を実施し，改訂案に反映させることになった。それを受け，6月下旬から141語についての筆記選択式の調査をおこない，67人のアナウンサーから回答を得た。現在，集計・分析を進めているので，また別途報告したい。

3.3　用法によりアクセントの異なる語（名詞・副詞）

同じ形の語でも，名詞と副詞（副詞的用法）で異なるアクセントを載せているものがある。

1曲，1局［名］　イッキョク＼
1曲，1局［副］　イッキョク￣
大勢［名］　オーゼ＼ー
大勢［副］　オーゼー￣

「大勢」の場合，「大勢が集まる」は名詞で起伏型，「大勢集まる」は副詞で平板型になる。

同様の区別が『現行版』に載っているのは以下のとおり。

●日時に関する語

あした，あす《明日》，おととい《一昨日》，昨日，さきおととい《一昨昨日》，せんだって《先達》，のち，半月，半時，半年，半日

●数詞＋つ

十（とお），二つ，三つ，六つ，八つ，四つ

●数詞＋助数詞

1合，1局，1曲，1冊，一札，1隻，一節，1着，1通，1発，二度，2組，2桁（名）・二桁（副），2人，4人，9日

●その他

一度，大勢，全体，遠く，時々，半分，皆，みんな《皆》

以上のものも，例えば「皆」は「皆　［副］（～集まる）」，「皆　［名］（～が集まる）」のように，品詞と用例が両方示されている。しかし，用例だけのもの，品詞だけのものと統一されていない。

今改訂では，品詞の表示ではわかりにくいので，なるべく例文を示して，具体的に用例を示すことにした。

また『現行版』では，名詞と副詞の区別をすることなく，同一項目で示している語がある。

シカ゛ツ＼，シカ゛ツ￣　4月
ハチカ゛ツ＼，ハチカ゛ツ￣　8月

何も断りがないが，尾高型は「4月になる」のように名詞，平板型は「4月開店する」のように副詞的用法と使い分けがあるはずである。こういったものもチェックして，用例をつけて，別立項にしたい。

4　母音の無声化に関して

母音の無声化に関する記述は，『現行版』では複数の箇所に解説が散らばってしまっている（冒頭pp.6-7，巻末pp.227-228）。また，その記述内容に不十分なところも見られる。

今回，当面の作業指針として，下記のようなものを示した。これについては，今後さらに検討を進める予定である。

4.1　母音の無声化をめぐる整理案

ここで「（母音が）無声化する」とは，「一般的な話速の場合には，ほぼ義務的に無声化する」ことを意味する。新しい『アクセント辞典』では，その拍に無声化記号を付して示すことにする。

【母音の無声化】

Ⅰ．［キ］［ク］［シ］［ス］［シュ］［チ］［ツ］［ヒ］［フ］［ピ］［プ］のうしろに，《カ》《サ》《タ》《パ》の各行があるときには，先行拍の母音が無声化する。

例　㋖ク＼（菊），
　　タ㋗カメ＼ル（確かめる），
　　ガ㋓シャ￣（学者）

ただし，［シ］［ス］［シュ］と《サ》行の組み合わせの場合には，無声化しない。

例　シ＼ソン（子孫），スサ＼ル（退る），
　　スシ＼（鮨），シュショク￣（主食），
　　シシュー￣（詩集），シシン￣（私信），
　　スシ＼（ス＼シ）（鮨），ス㋙キ￣（薄），
　　シサイ￣（司祭）

Ⅱ．［キ］［ク］［シ］［ス］［シュ］［チ］［ツ］［ヒ］［フ］［ピ］［プ］のうしろに，《ハ》行があるときには，先行拍の母音が無声化することもある。おおむね，先行拍にアクセントがない場合には無声化し，アクセントがある場合には無声化しない。

例　㋓フー￣（工夫），クハイ￣（苦杯），
　　ハチ＼ホン（8本），ヒ＼フ（皮膚）

Ⅲ．母音の無声化の条件を満たす拍が2つ続いた場合には，一方の拍は無声化しない。

例　㋖キカタ￣（聞き方），
　　タキ㋗ケ＼ル（焚き付ける），
　　レキ㋗テキ￣（歴史的）

3つ続いた場合には，まん中の拍は無声化しない。

例　㋖キ㋙テ＼ル（聞き捨てる），
　　㋖キ㋗ケ＼ル（聞き付ける）

ただし用言の活用形については，無声化拍が連続することもある。

例　アヤ㋗＼㋓テ（怪しくて），
　　ウ㋗ク㋗＼㋓テ（美しくて）

Ⅳ．母音の無声化の条件を満たす拍にアクセントがある場合，次のような変化をすることがある。

（ア）そのまま無声化する。

例　イ㋗＼ク（居つく），
　　ガラ㋙＼キ（ガラス器），
　　ショ㋖＼カン（書記官）

（イ）無声化して，アクセントがうしろにずれる。

例　㋗＼ク　～　㋗ク＼（付く）
　　cf. ㋗ク￣（突く）
　　㋖＼テ　～　㋖テ＼（来て）
　　cf. ㋖テ￣（着て）
　　㋗＼キ　～　㋗キ＼（四季）

（ウ）アクセントはそのままで，無声化しない。

例　ク＼シ　～　㋓シ＼（駆使）

また下記は，『現行版』に取り上げられていない音環境に関する記述である。用例は，いずれも『現行版』に掲載されている形である。

V．［キ］［ク］［シ］［ス］［シュ］［チ］［ツ］［ピ］［プ］のうしろに，促音が続いて，そのあとに《カ》《サ》《タ》《パ》の各行があるときには，先行拍の母音が無声化する。

例　キ＼ック（kick），キッサ‾～キ＼ッサ（喫茶），キッテ‾～キッテ＼（切手），キッパ＼リ（と断る），ク＼ッキー（cookie），クッキョー‾（屈強），クッシン‾（屈伸），シッカン‾（疾患），シ＼ッタ～シッタ＼（叱咤），シッチ‾（湿地），シッパイ‾（失敗），スッカ＼リ（すっかり），スッパ＼イ（酸っぱい），シュッカ‾（出火，出荷），ハス＼ッパ（はすっぱ），チ＼ッキョ（蟄居），チッソク‾（窒息），ツッパネ＼ル（つっぱねる），ピ＼ッコロ～ピッコロ‾（piccolo），ピ＼ット（pit），プッツ＼リ（ぷっつり），インプ＼ット（input）

例外　チ＼ッソ（窒素），チ＼ップ（tip）

ただし，［シ］［ス］［シュ］＋促音＋《サ》行の組み合わせの場合には，無声化しない。

例　シ＼ッソ（質素），シュッシン‾（出身），シッショー‾（失笑），シッシン‾（失神・湿疹），シュッサン‾（出産）

（しおだ たけひろ／やました ようこ／ひがし みなこ）

注：

1）塩田雄大（2012）「『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂 項目表示形式の検討～アクセント辞典改訂専門委員会（第 6 回）から～」『放送研究と調査』62-9

2）『NHK 漢字表記辞典』では NHK の放送で使う表記を，ゴシック体の文字で示している。「あいがん」は「哀願」と漢字表記することができる。また,「あいくち」の場合はひらがな書きとなる。「匕首」の漢字表記のうち「匕」は常用漢字表に含まれない漢字であるため「×」で使わない漢字を示している。「首」は「クチ」という読みが常用漢字表に含まれない「表外音訓」のため,「▲」で使わない漢字を示している。

3）『NHK 漢字表記辞典』では「ひらがな書きが望ましいもの」は［①ひらがな②漢字］の順で示している。

引用文献：

・塩田雄大（2013）「NHK アナウンサーのアクセントの現在　－複合動詞を中心に－」『現代日本語の動態研究』おうふう

第７回『アクセント辞典』改訂専門委員会

【開催日】平成 26 年 5 月 26 日（月）
【出席者】井上史雄 氏，上野善道 氏，相澤正夫 氏，星野　豊 アナウンス部専任部長（当時），兼清麻美 シニアアナウンサー，大出岳史 副部長［放送用語］ほか

月刊民放 2014 9 September

特集 アイドルを探せ！

●職業になったアイドル――太田省一（社会学者）
●テレビから遠く離れて――香月孝史（ライター）
●新規リスナーの入り口にすべき――豊田拓臣（フリー編集者・ライター）
●初音ミクが変えたクリエイティブの仕組み――柴　那典（ライター・編集者）
●ローカルアイドルを育む――森永卓郎（経済アナリスト）
◇視聴率中心のドラマ評価を超えて――宇佐美　毅（中央大学）
◇『現代ジャーナリズム事典』を編集して――飛鳥勝幸（三省堂）
【ドキュメンタリーわが視点】地方から「タブー」に物申す――安川克巳（中京テレビ）
【わたし流番組論】ひとつの音楽のように――佐伯和歌子（北日本放送）

9月1日発売　編集・発行　日本民間放送連盟
B5判・48ページ　定価 535円 本体495円（送料別）
発売　コーケン出版
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-5-13　TEL 03-3261-4789